

令和3（2021）年度 資源評価調査報告書

種名	イイダコ	対象水域	瀬戸内海
担当機関名	水産資源研究所 底魚資源部、大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部水産技術センター、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター、岡山県農林水産総合センター水産研究所、香川県水産試験場、福岡県水産海洋技術センター		

1. 調査の概要

瀬戸内海の各府県において、本種に関する漁業の概要、生物学的特性、過去の漁獲量やCPUEならびに現在実施されている各種漁獲制限などの情報収集を行い、もしくは調査を開始した。詳細については以下の通り：

大阪：標本漁協における全漁業種による漁獲量情報を元に、1980年以降の漁獲量及びCPUEデータの推移を示した。

兵庫：兵庫県海域における小型底びき網漁業による漁獲量データの収集を開始した。

岡山：県東部及び西部海域において小型底びき網を用いた標本船CPUEデータの収集を開始した。

香川：播磨灘（3漁協）、備讃瀬戸（1漁協）及び燧灘（2漁協）各海域の香川県標本漁協における小型底びき網による2002年以降の漁獲量及びCPUEのデータを収集した。

福岡：2019年より小型底びき網による年別CPUEデータの収集を開始した。

2. 漁業の概要

瀬戸内海の各府県各海域における本種を対象とした漁業の概要について、各府県単位で記述した。詳細については以下の通り：

大阪：主に小型底びき網で漁獲され、周年操業を行うが、近年本種の漁獲量は激減している。

兵庫：主に小型底びき網で漁獲される。

岡山：主に小型底びき網で漁獲される。

香川：主に小型底びき網で漁獲される。

福岡：主に小型底びき網で漁獲される。

3. 生物学的特性

本種の生物学的特性について、項目毎に記述した。詳細については以下の通り：

(1) 分布・回遊：

- ・北海道南部以南の日本全国から中国・朝鮮半島南部、中国沿岸の浅海底に分布（奥谷2017）。

(2) 年齢・成長：

- ・寿命は1年。

(3) 成熟・産卵：

- ・産卵期は2～8月（瀬川 2013）。産卵期間中は合計約290個の卵を複数回に分けて産卵する（吉川ほか 2016）。4～5月に産卵期となる中国・青島海域において、雌は6月から卵巣が発達し始め2月以降に成熟する。一方、雄の精巣は雌よりも先に成熟が完了し、9月には成熟し4月まで成熟状態が継続する（Wang et al., 2015）。

(4) 食性：

- ・甲殻類または貝類を捕食する。

4. 資源状態

瀬戸内海の各府県各海域における本種の資源状態を示す各種指標値の推移や資源の水準・動向判断について、各府県・海域毎に記述した。十分な情報が得られていない海域については、指標値の推移のみを示すか、資源判断を行わずにその旨を記載した：

- ・大阪府の標本漁協における現在の漁獲量はピーク時の1/3をはるかに下回る水準であり、近年の動向は横ばいである（図1）。2016年から2019年における月別CPUEは3月にピークが見られたが、最新年には目立ったピークが見られなくなり漁獲量及びCPUEとも過去最低値となっている（図1, 2）。
- ・兵庫県海域についてはデータの収集を始めたばかりであり、現段階では資源状態の判断には至らない。
- ・岡山県海域についてはデータの収集を始めたばかりであり（図3, 4）、現段階では資源状態の判断には至らない。
- ・香川県における灘別の小型底びき網CPUEの推移から資源水準（0～最大を3分割）及び動向（直近5年間）を判断すると、播磨灘、備讃瀬戸、燧灘いずれも低位・横ばいであった（図5～7）。
- ・福岡県海域についてはデータの収集を始めたばかりであり、現段階では資源状態の判断には至らない。

5. 資源回復などに関するコメント

瀬戸内海の各府県各海域における本種の漁業に関連した各種規制措置などについて記載した：岡山県では、漁業者の自主的な取り組みとして小型底びき網袋網の目合い拡大などの措置を講じている。

引用文献

- 奥谷喬司 (編・著) (2017) 日本近海産貝類図鑑. 東海大学出版部. pp.1147
- 瀬川進 著. 「イイダコの日々」, 奥谷喬司 (編・著) (2013) 日本のタコ学 東海大学出版会. pp126-140.
- 吉川廣幸・井野靖子・岩谷淳司・森島輝 (2016). 小型水槽を用いたイイダコの水槽内産卵及び 初期胚発生に関する研究. 水産大学校研究報告, **64**, 178-181.
- Wang, W., Dong, G., Yang, J., Zheng, X., Wei, X., & Sun, G. (2015). The development process and seasonal changes of the gonad in *Octopus ocellatus* Gray off the coast of Qingdao, Northeast China. *Fish Sci*, **3**, 309–319.

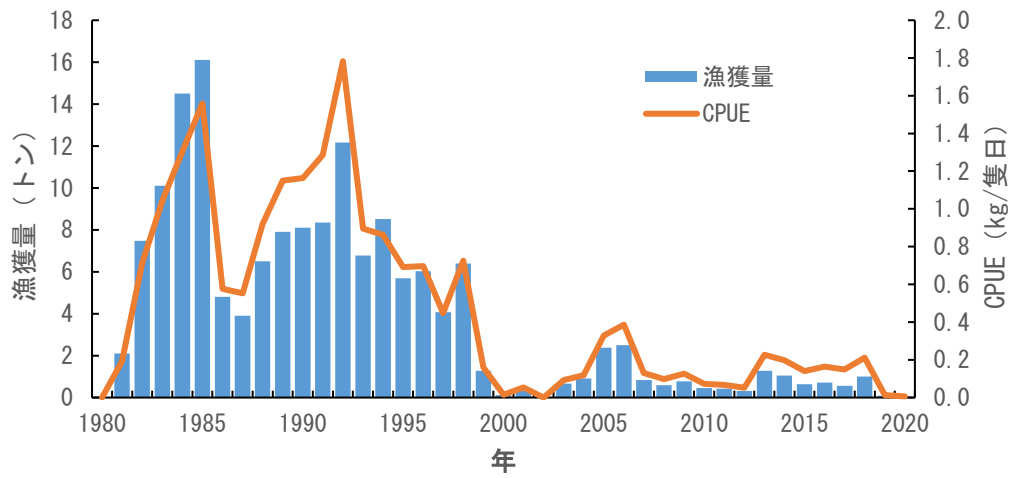


図1. 大阪府の標本漁協における1980年以降の小型底びき網漁業でのイイダコ漁獲量ならびにCPUEの推移

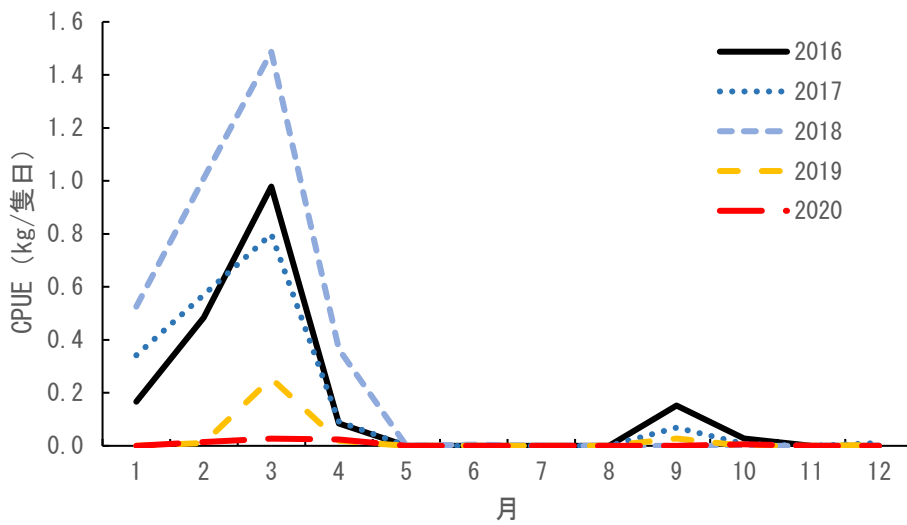


図2 大阪府の標本漁協における2016年～2020年の小型底びき網漁業（石桁網）による月別のイイダコCPUE

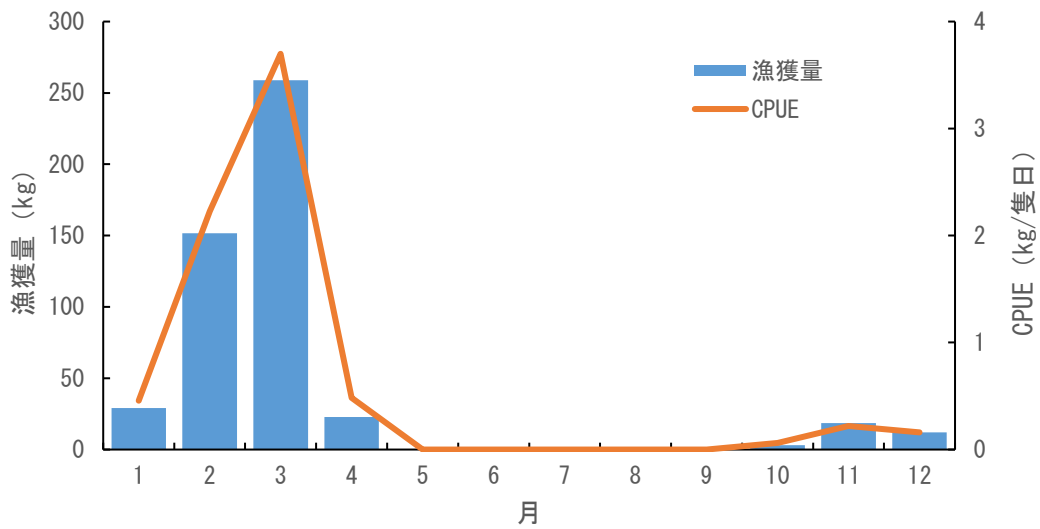


図3 岡山県東部海域の標本漁協（牛窓町漁協）における小型底びき網標本船（8隻）によるイダコの月別の漁獲量ならびにCPUEの推移（漁獲量ゼロであった5～9月CPUEをゼロと示す）

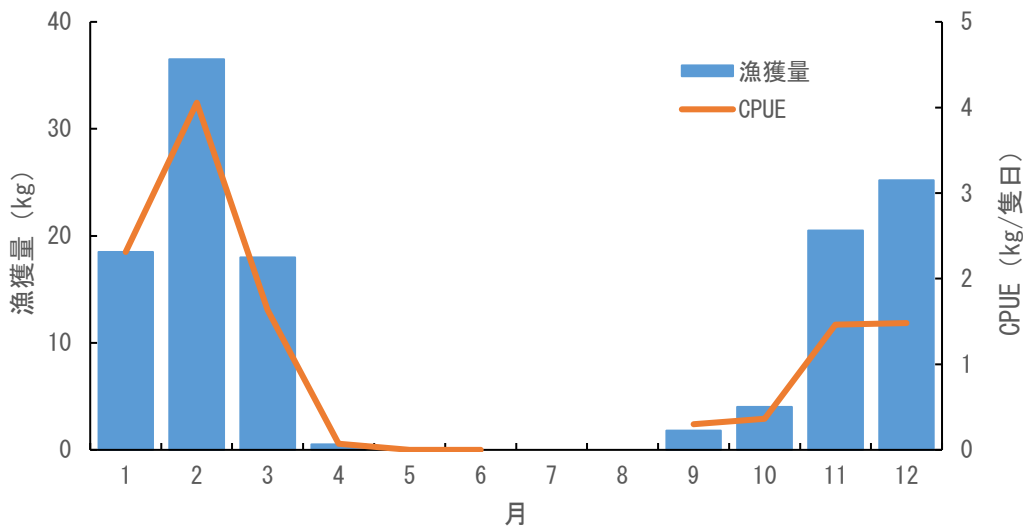


図4 岡山県西部海域の標本漁協（寄島町漁協）における小型底びき網標本船（1隻）によるイダコの月別の漁獲量ならびにCPUEの推移（7、8月は操業せず；漁獲量ゼロであった5、6月CPUEをゼロと示す）

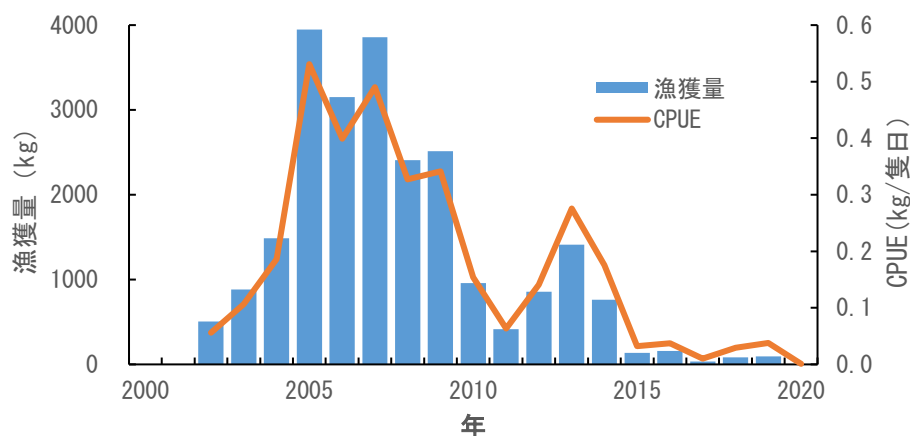


図5 香川県播磨灘の標本漁協における底びき網によるイイダコ漁獲量ならびに CPUE の推移

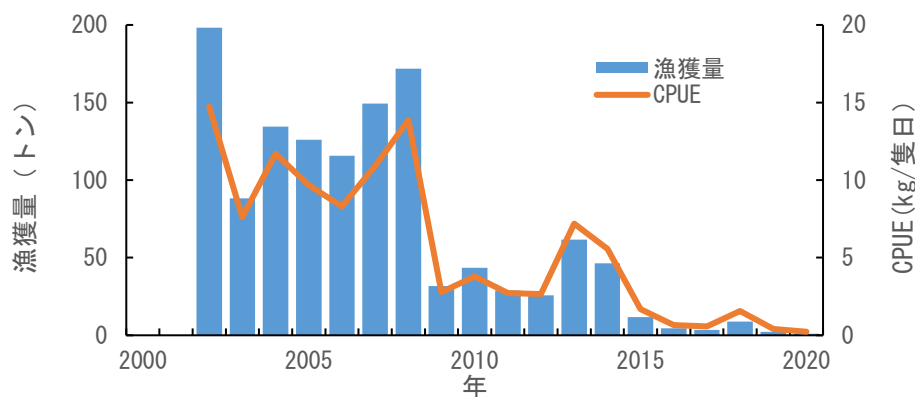


図6 香川県備讃瀬戸の標本漁協における底びき網によるイイダコ漁獲量ならびに CPUE の推移

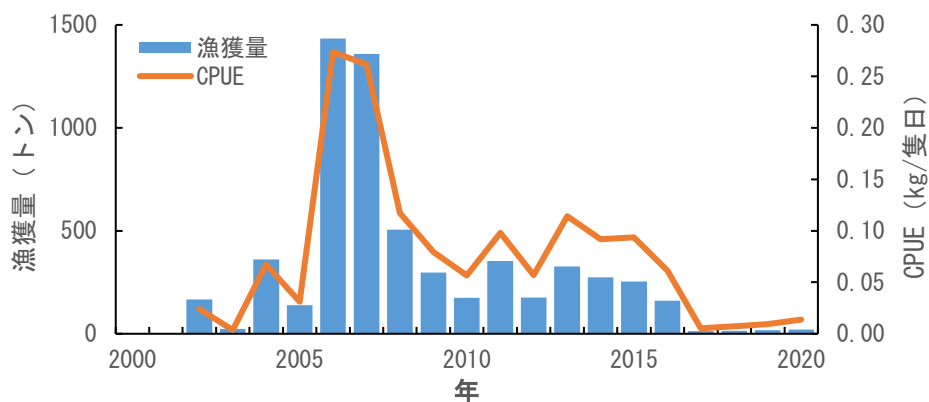


図7 香川県燧灘の標本漁協における底びき網によるイイダコ漁獲量ならびに CPUE の推移